

10月31日(月)

来 な さ い

聖書朗読 使徒 10:1~8

すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。 マタイ 11:28

私は子どもの時ぐずぐずする傾向があったので、「さあ、ジェス、もう行く時間よ」とよく言われました。それでも私がまだぐずぐずしていると、母は私のところに来て私の手をとるか、父が私を抱き上げて出発したものです。

親は子どもを愛し、側にいてやりたいと思うので、子どものところに来ます。神様も同じです。今日の朗読の中には、御使いがどのようにコルネリオのもとに来たかが書かれています。コルネリオは、神様の御前に立つに値するので御使いが来たのでしょうか。彼は神様を恐れかしこみ、多くの施しをなし、いつも神様に祈りをしていました。コルネリオが神様のもとへ行ったので、神様が彼のもとに来られたのでしょうか。

いいえ。私たちの誰でさえ、コルネリオでさえ、神様が来られるに値しません。しかし、神様は来られるのです！ それに値しない私たちのもとに来て、私たちが神様のもとへ行くようにと請われるのです。その呼びかけに私たちがぐずぐずすれば、私たちの手を取り、行くべき道へと導かれます。神様が私たちのもとへ来られたら、私たちにできることは、一緒に行くことだけです。

讃美歌 242

祈り 主よ。今日、私が行くべき道を示してください。いらして私の手を取り、どこへでもあなたに従うことができるように力づけてください。
イエス様の御名を通して。アーメン。

ジェス・ペーターソン
テキサス州 ラボック

今日の力

2016年10月31日～11月6日

翻訳 ゲラ弘美

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

11月1日(火)

信 仰 の 足 跡

聖書朗読 ローマ 4:1~15

主はアブラムに仰せられた。「あなたは、あなたの生まれ故郷、あなたの父の家を出て、わたしが示す地へ行きなさい。」 創世記 12:1

アブラハムは行き先もはっきりしない旅へと出発したとき、確かに信仰の一步を踏み出しました。今日の朗読は『信仰の足跡』についてです。それを読みながら私は「容易に登れる山はない」という表現を思い出しました。アブラハムの山は確かに簡単には登れませんでした！ 私たちの山も同じです。

アブラハムは神様を信じていました。彼の行く道がどこに通じているのか分からなかった時でさえ、神様に従いました。世界を旅するのは困難です。知らない道や恐怖を感じる道を行かねばなりません。神様が私たちに示された道を、信頼しつつ行かねばなりません。私たちの信仰が神様の導きに従うとき、それは報われます。

今日あなたが一人さびしく旅する道は何ですか。病気や死や離婚や破産でしょうか？ あなたより先にその道を歩いた人たちの足跡を探してごらんください。神様だけがくださる力をもって、あなたの後に来る人たちを導きましょう。信仰が、私たちの一步一步を可能にしてくれます！

信仰はどこへ導かれるのか、その行先をけっして知ることはない、
しかし、信仰は、自分を導く人がだれか知っているし、
その人を愛している。

———オズワルド・チェンバース

讃美歌 270

祈 り お父様。あなたがくださった信仰の模範に、そしてそれが永遠に真実であると約束してくださったことに感謝します。
イエス様の御名のもとに。アーメン。

アニータ・プライス
テキサス州 ラボック

11月2日(水)

永 遠 に 尽 き な い 贈 り 物

聖書朗読 ローマ 5:6~11

まことに、神なる主は太陽です。盾です。主は恵みと栄光を授け、正しく歩く者たちに、良いものを拒まれません 詩篇 84:11

あなたが今までに経験した最も激しい痛みについて考えてください。イエス様の苦痛は、人間が知っているどの痛みをも超えるものでした。あなたは、自分の背中の肉がむちでさけるのを、自分から志願したいと思いますか。イエス様はそれをなさいました。自分の手や足にくぎが打ち込まれるほどの愛を理解することができませんか。イエス様にはそれができたのです。

時代を超えての真実がそれを明らかにしています。神様はそのひとり子を与えてくださるほどに世界を愛されたのです。

このすばらしい真実があなたのたましいに、今日、浸透し、その犠牲の深さを悟ることができますように。自分一人でできることはありません。イエス様があなたの罪に対して支払ってくださったのです。私たちはその恵みによって正されたのです。これを認めなければ贈り物を受けることはできません。贈り物を拒否すれば、与え主を侮辱することになります。

今日この日に、この貴重な贈り物を受け入れましょう。それは、与えられ続ける贈り物です。受け取ったら何かを失ってしまうかと思ってはいませんか？ そんなことはありません。イエス様はすべてです。イエス様は言い尽くせぬほどの喜びであり栄光なのです。

神様の貴重な贈り物は今日愛と共にあなたに送られています。そしてそれは永遠に続くのです。

讃美歌 第二編 82

祈 り 親愛なる神様。私たちを救うためにあなたの御子を地上に送ってください。感謝します。永遠にあなたの御子の御名を讃えます。
イエス様の御名を通して。アーメン。

ジョアン・クレイトン
ニューメキシコ州 ポーティルズ

11月3日(木)

ギレアデの乳香(薬用)

聖書朗読 詩篇 46編

どうか、朝には、あなたの恵みで私たちを満ち足らせ、私たちのすべての日に、
喜び歌い、楽しむようにしてください。 詩篇 90：14

高いヤシの木に登って、全身の皮膚をすり傷だらけにしてしまった小さな男の子の話を聞いたことはありませんか。この男の子は木に登っている途中で足をすべらせてしまい、木の上から下まで幹を抱くようにして落ちたのです。その男の子が最初のショックから立ち直り、涙がかわいた後で、両親に言ったことは「まあいいや、少なくともかさぶたを引きはがすのは好きだから！」

人生はしばしば、ガサガサでベタベタのかたまりです。問題は毎日そびえたっています。道を間違えれば、孤独に傷つくことになります。争いによって家族や心の中が傷ついてしまいます。勇気は束の間しか続きません。私たちはなんとかやすく疑惑や不満を叫び出してしまうことでしょう！しかし、神様は私たちに、神様にあって信頼するようにとおっしゃっています。神様は私たちの壊れやすさを保全し、私たちの罪なるたましいにも満足してくださっています。

イエス様は私たちに言われています。『すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。わたしは心優しく、へりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすればたましいに安らぎがきます。』(マタイ11：28～29)。私たちがイエス様のもとへ行くことができますように。

讃美歌 第二編 56

祈り お父様。あなたの恵みで私たちを毎日満ち足らせてください。あなたは私たちの希望です。

イエス様の御名において祈ります。アーメン。

ルーシー・パーリン
テキサス州 ラボック

11月4日(金)

どうか私を助けて！

聖書朗読 ローマ 14：13～23

ですから、私たちは、もはや互いにさばき合うことのないようにしましょう。いや、それ以上に、兄弟にとって妨げになるもの、つまずきになるものを置かないように決心しなさい。 ローマ 14：13

本当に強い者は、弱い者が成長するために譲ることを厭いません。しかし、弱みをさらすことに恐怖を感じる者は、自分の意見を押し通し、他人の信仰をも破壊してしまうことがあります。

コリント人への手紙第一の8章では、使徒パウロがキリストにある私たちの自由について論じています。パウロもこのように言っています。「知識は人を高ぶらせ、愛は人の徳を建てます」。これは、こういう意味のことを言っているのです。私はあなたを愛しているので、自分の意志であなたに平伏します。もしそうすることによってあなたが良心に対して罪をおかさず、信仰を失わず、私の行動に怒らないでくれるなら、主は喜んでくださいます。

パウロはさらに、お互いに愛し合って、まず弱き者の必要を満たすようにと私たちを励ましています。『人が神を愛するなら、その人は神に知られているのです。』(Iコリント 8：3)。

人の誤った行動をユーモアをもって記している碑文があります。それを読むと私は黄金のルールを実践しなければならないと思うのです。

ここにジョンの身体が横たわっている。
正しい道を護って死んだ人。
彼は正しいが故に死に急いだが、
悪い事をして死んだとしても、
死んでしまえば皆同じ。

讃美歌 514

祈り 私たちのお父様。同胞のクリスチャンとつまずきそうなときには、理解と忍耐と知恵をください。

イエス様の御名において、お願いします。アーメン。

ウィリアム・E・マックドノー
カンボジア プノンペン

11月5日(土)

伝道は難しくない

聖書朗読 I コリント 3:5~15

私が植えて、アポロが水を注ぎました。しかし、成長させたのは神です。

I コリント 3:6

多くのクリスチャンが福音を伝道することは難しいと思っています。「放蕩息子の話をするにはどの箇所を読めばいいんだろう?」「アグリッパに打ち勝つことについて、何を話したらよいだろうか?」などと、私たちはキリスト教に対しての哲学的な反論について、また深い罪の問題の克服のしかたについて、あれこれ仮想してしまいます。

しかし、福音の伝道は簡単なものなのです。なぜなら、キリスト教へ入信する人の多くが子どもだからです。研究によると、教会の大多数の人が十代かもっと幼い時にクリスチャンになっています。

若者の心に福音を植えて水をやることは、庭仕事と同じように簡単なことです。パウロもコリント人への手紙第一でそのことを述べています。3歳の子どもに聖書の話をしてあげれば、それが福音を植えることになります。10代の若者たちに教えればそれが水をやることになります。5歳の子には夏休みの教会学校で人形劇をしながら教えればそれが福音を植えることになります。水やりは、水曜日の夜の聖書クラスで7年生を教えたり、マタイの福音を高校生に教えればいいのです。若者たちと、福音を簡単に効果的に分かち合えるということを理解すれば、伝道の仕事はワクワクするものとなり、私たちのクリスチャン人生を豊かにしてくれます。私たちを通し、神様は若い人たちをご自分の王国に招かれているのです。

聖歌 201

祈り 親愛なるお父様。子どもたちに感謝します。子どもたちに今週はどのように福音を植え、水をやればよいか、示してください。

あなたの御子イエス様の御名において。アーメン。

ハロルド・シャンク

ウエストバージニア州 パーカースバーグ

11月6日(日)

愛はけっして失敗しない

聖書朗読 I コリント 13:4~13

愛は多くの罪をおおうからです。

I ペテロ 4:8

一緒に住んでいる人、教会で一緒に礼拝をする人、一緒に働いている人に対して、自分がどのように愛を示しているか、思ってみたことはありませんか。

ビジネスの世界では、成長を棒グラフに表します。同様に、私の他人への愛がどのくらいかをグラフにすることはできたと思います。多分、私の忍耐力は25%ぐらいで、親切心は30%ぐらいで、嫉妬心は85%ぐらい、自分本位にしない心は2%ぐらいです。このような年間報告書では、疑いなく、失望させられます。長い間、救い主と一緒に歩こうと努力してきたのに、どうして私はこんなに少ししか到達できなかったのでしょうか。

真実はというと、神様はイエス様の血を通して、私の棒グラフの一つ一つのゴールが100%であるをご覧になってくださるのです。なんと素晴らし恵みを頂いていることでしょう。主の愛と施しを知ることは何と恭しくスリルに満ちたことでしょう。

愛の目は素早く油断なく見張り、

さまよい人がその住まいに帰って来るのを見逃さなかった。

愛はその人に言葉を与えた。

私に必要だったのは—靴とマントと指輪

—————R・C・トレンチ

讃美歌 489

祈り 恵み深き神様。イエス様の血を通して私たちをご覧になり、そして愛の中に私が成長できるように導いてくださることに感謝します。

イエス様の御名において。アーメン。

ノーマ・プリベット

カリフォルニア州 サウザンドオーク